

アラゲハンゴンソウ

Rudbeckia hirta var. pulcherrima



種名

分類

被子植物双子葉植物綱キク目キク科

俗称

キヌガサギク

生活型

多年草

分布

北アメリカ原産の帰化植物。

形態

全草を硬く粗い毛が覆い、葉質はざらつく。高さ:30～100センチ。
花径が4～6センチくらいある頭花で、舌状花は黄色く、真ん中の筒状花は黒紫色をしている。
根際から生える葉は卵形で、互い違いに生える(互生)。縁には不揃いのぎざぎざ(鋸歯)がある。
そう果(熟しても裂開せず、種子は1つで全体が種子のように見えるもの)

類似種

生息場所

:平地。

繁殖

花期は:6~9 月。

他生物との関係

現在では関東地方から四国にかけて帰化している。その繁殖力にはすさまじいものがある。近縁種
のオオハンゴンソウの筒状花は黄緑色なので区別ができる。

カテゴリ

引用文献:ホームページ「みんなの花図鑑 アラゲハンゴウソウ」を改変